



OptoNext Hamamatsu



浜松から全国へ、そして世界へ。  
光によるイノベーションを発信していきます。

静岡県を主体として、静岡県全体を3つの産業集中地域に区分けし、「ファルマバレー」「フードバレー」そして「フォトンバレー」として医療・食材・光技術を基軸とした産業活性事業の展開が進められています。その構想に基づき、浜松市や浜松商工会議所は、経済産業省が進める地域クラスター事業を介して、地域にある企業をクラスター組織としてまとめ、次世代産業としての光技術の発展を目指してきました。2002年からのオプトロニクスクラスター事業は、浜松地域イノベーション推進機構が主体となって産学官の連携を構築し、さまざまな産業シーズ技術の発展に尽力。その流れの中で、浜松ホトニクス（株）を含めた地域の光関連企業をネットワーク化し、光のネットワーク構築を行い、30社程度の企業からなるクラスター構築を達成しました。その後、クラスター事業に対する国からの支援が終了したことで、新たなクラスター事業の展開が求められています。

2013年には、本学、浜松ホトニクス（株）、静岡大学および浜松医科大学の4者による「浜松光先端都市宣言」が発表され、2014年には国の助成による「光創起イノベーション研究拠点」の設置も完了。そして今年4月には待望の「フォトンバレーセンター」の開設となり、当地域が、地域における国際化と光産業の世界的な中心地になるべく、活動が活性化しています。

「OptoNext Hamamatsu」構想はこうした流れの中で誕生し、ドイツやアメリカなど世界的な光産業クラスターと協力関係を築けるネットワーク組織となることを目指して検討を始めました。2016年には光産業創成大学院大学を中心に「OptoNext Hamamatsu準備会議」を創設。そして2017年5月には、「OptoNext Hamamatsu」を組織化し、本格稼働を開始しています。

OptoNext Hamamatsuは、浜松から全国へ、そして世界へ。幅広い産業に向けて、光によるイノベーションを発信していきたいと考えています。みなさまのご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

OptoNext Hamamatsu  
代表 瀧口 義浩

# OptoNext Hamamatsu のミッション

- I. 浜松を「光先端都市」にするための産官学金のネットワークを構築します
- II. 研究者と企業を結び、企業の課題解決とビジョンの実現に役立つ体制を整備します
- III. 地域内の人物金情報が柔軟に行き来する相互交流の場を提供します
- IV. 国内外のネットワークおよび光産業クラスターと協力関係を結びます
- V. 光技術を中心に次世代の産業を創造する若手人材を育成します

## ■ 組織の特徴と参画メリット

### 地域製造業のブランドを一括して担う組織

多種多様な業種を横断しながらも、光技術を軸としたまとまりのある組織として、国内外ネットワーク等からの協力要請に一括対応できる組織を目指します。

### 大学リソースの活用が可能な組織

光産業創成大学院大学等、域内外の大学リソース（技術シーズ、設備・施設等）の活用により、各企業の技術開発をスムーズに支援します。

### 会員同士のコミュニケーションを重視した組織

会員同士のコミュニケーションの場を整え、会員相互の技術情報や成功事例の共有を実現するほか、会員情報の集約に基づくコーディネート機能の実現を目指します。

### 中立かつ継続性が担保された組織

中立的な組織として、光を基軸とした地元産業の振興に継続的に関与します。

光を始めとする世界の先端技術を活用し、新技術開発・新事業展開を狙う意欲あふれる皆様とともに、個性が際立つ産業ネットワークの構築を目指します。

### ●会員サービス(2017.7現在)

1. 国内市場開拓: 国内他ネットワークへの企業情報発信とマッチング／浜松での展示会開催／OptoNextブランドでの展示会出展
2. 海外市場開拓: イエナ(Optonet)、ベルリン(OptecBB)への企業情報発信とマッチング／海外との取引に伴う各種サービス(翻訳、認証、契約等の支援)／OptoNextブランドでの展示会出展
3. 研究者による支援: 新事業開発や技術課題の解決に当たり専門的見地からのアドバイス・支援
4. ネットワーク内交流: OptoNextサロンの定期開催によるネットワーク内の柔軟な交流
5. 人材育成／光技術、ものづくり起業・新事業展開等に関するセミナー等の人材育成プログラム提供





(名称)

本会は、OptoNext Hamamatsu(オプトネクスト浜松)と称する。

(目的)

本会は、浜松市の特性を生かし、光技術、光科学、光産業・経済、学術、文化等の国内・国際交流事業を幅広く行い、もって個性と活力にあふれた光先端都市浜松の創造に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

1. 浜松を「光先端都市」にするための産官学金のネットワークの構築
2. 研究者と企業を結び、企業の課題解決とビジョンの実現に役立つ体制を整備
3. 地域内の人物金情報が柔軟に行き来する相互交流の場を提供
4. 国内外のネットワークおよび光産業クラスターと協力関係を構築
5. 光技術を中心に次世代の産業を創造する若手人材を育成

その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

■会員

(会員サービス)

本会は、前条の目的を達成するために以下のサービスを会員に提供する。  
サービス内容は会員の要望に応じて追加する。

1. 国内市場開拓: 国内他ネットワークへの企業情報発信とマッチング／浜松での展示会開催／OptoNextブランドでの展示会出展
2. 海外市場開拓: イエナ(Optonet)、ベルリン(OptecBB)への企業情報発信とマッチング／海外との取引に伴う各種サービス(翻訳、認証、契約等の支援)／OptoNextブランドでの展示会出展
3. 研究者による支援: 新事業開発や技術課題の解決に当たり専門的見地からのアドバイス・支援
4. ネットワーク内交流: OptoNextサロンの定期開催によるネットワーク内の柔軟な交流
5. 人材育成／光技術、ものづくり起業・新事業展開等に関するセミナー等の人材育成プログラム提供

(会員)

本会の目的に賛同したものを会員とする。  
会員となるには、本会所定の様式による申込みをし、理事会の承認を得るものとする。

(会費)

本会の会費は、正会員1口10,000円、個人会員1口1,000円とする。

■総会

(構成)

総会は、すべての役員、会員をもって構成する。

(開催)

定期総会を年1回招集し、次の事項について審議する。

1. 当該年度の事業計画
2. 活動報告
3. 役員の変更
4. その他重要と認められる事項

(決議)

総会の決議は、過半数の会員が出席し、出席した会員の過半数をもって行う。

■役員

(役員)

当会に、次の役員を置く。

会長 1名  
副会長 5名以内

(役員を選任)

役員は、総会の決議によって選任する。

(役員の任期)

役員の任期は、2年とする。

■事務局他

(事務局)

本会の事務局は、光産業創成大学院大学内に設置する。

(事業年度期間)

本会の事業及び会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付則

この規則は、成立の日から施行する。

平成29年5月26日

# OptoNext Hamamatsu

## 事務局

静岡県浜松市西区呉松町1955番1  
光産業創成大学院大学内  
Email: info@optonext.org  
Tel/Fax: 053-484-2586  
http://www.optonext.org